



10/31 [Thu]  
東京芸術劇場 コンサートホール

〈Program〉

- パーシー・コード:セルダ  
コルネットソロ:リチャード・マーシャル
- ピーター・グレイム:バリトンのための協奏曲  
バリトンソロ:カトリーナ・マーゼラ
- ポール・ロヴァット=クーパー:ウォーキング・ウィズ・ヒーローズ
- ホアキン・ロドリゴ:アランフェス協奏曲  
フルーゲルホルンソロ:ゾイ・ロヴァット=クーパー
- アンディ・スコット:竜の巣(ドラゴンズ・デン)  
ユーフォニアムソロ:ダニエル・トーマス
- ピーター・グレイム:“キャッツ・テイルズ”より  
“カタロニア”  
ソロ:ゾイ・ロヴァット=クーパー、シボン・ペイツ、アリソン・チャイルズ、サミー・ラトウス
- “キャットウォーク”  
“スカット”  
ソロ:リチャード・マーシャル、プレット・ベイカー、ローガン・ハートレイ
- ピーター・グレイム:シャイン・アズ・ザ・ライト 他

11/2 [Sat]  
すみだトリフォニーホール

〈Program〉

- ピーター・グレイム:“ウィンドウズ・オブ・ザ・ワールド”より  
“アマゾニア”  
“ケルトの夢”  
バリトンソロ:カトリーナ・マーゼラ
- “雷の太鼓”
- フィリップ・ハーバー:ケルティック・プロミス  
テナーホルンソロ:シボン・ペイツ
- ピーター・グレイム:交響詩“ダイナステイ”
- ポール・ロヴァット=クーパー:ホライズン
- ロイ・ニューサム:舞踏室のバス  
チューバソロ:ゲヴィン・セイナー
- クラウス・バデルト他(ロバーツ編):  
映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」より
- オットリーノ・レスピーギ(スネル編):“ローマの松”より  
第1部 ボルゲーゼ荘の松  
第4部 アッピア街道の松 他

公演当日、両公演分の  
チケットを会場受付に  
お持ち頂くと、  
もれなく2019年来日記念  
ポスターをプレゼント!



朝岡 聡  
(司会)

# ブラック・ダイク・バンド

ニコラス・チャイルズ(音楽監督・首席指揮者)

〈東京芸術劇場 Presents ブラスウィーク2019〉

2019.10/31(木)19:00開演 18:00ロビー開場  
21:00終演予定  
東京芸術劇場 コンサートホール

(JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」西口から徒歩2分、駅地下通路2b出口直結)  
7:00p.m., Thursday, October 31, 2019, at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall  
【共催】東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
【協賛】三菱商事株式会社

2019.11/2(土)15:00開演 14:30開場  
17:00終演予定  
すみだトリフォニーホール

(JR「錦糸町駅」北口/東京メトロ「錦糸町駅」3番出口から徒歩5分)  
3:00p.m., Saturday, November 2, 2019, at Sumida Triphony Hall  
【共催】すみだトリフォニーホール

【主催】ジャパン・アーツ  
【後援】全日本吹奏楽連盟、日本ブラスバンド指導者協会  
東京芸術劇場 すみだトリフォニーホール  
Tokyo Metropolitan Theatre

チケット  
発売  
6/8(土)

夢倶楽部会員 WEB6/1(土)、夢倶楽部会員 TEL6/2(日)  
ジャパン・アーツぴあネット会員6/6(木)  
【チケット料金】全席指定¥5,500  
ジャパン・アーツ夢倶楽部会員¥4,900 / 学生¥2,700  
\*料金には消費税が含まれております。\*学生席・特別割引については裏面をご覧ください。  
\*ジャパン・アーツ夢倶楽部会員先行発売などで満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。

〈お問合せ&お申し込み〉  
ジャパン・アーツぴあ 0570(00)1212  
www.japanarts.co.jp/  
チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999  
【Pコード 151-671(10/31公演)、151-672(11/2公演)】  
東京芸術劇場ボックスオフィス(10/31公演のみ) 0570-010-296  
トリフォニーホールチケットセンター(11/2公演のみ)  
03-5608-1212 www.triphony.com  
イープラス eplus.jp  
ローソンチケット 0570-000-407[Lコード33877]

# 怒涛の「1週間」、ふたたび! ——富樫鉄火(音楽ライター)

2016年から2年続けて来日し、大旋風を巻き起こしたブラック・ダイク・バンド(BDB)が、またもやってくる!

サクソphon系(金管楽器)を中心に編成されたプラスバンドは、ヨーロッパでは多くのコンテストが開催されており、競技の面白さもある。

1816年創設(前身も含む)のBDBは、ブリティッシュ・オープン選手権で30回、全英選手権で22回、全欧選手権でも13回の優勝を誇っている。

まさに「ダイクの前にダイクなく、ダイクの後にもダイクなし」と評され、「世界で最も成功したバンド」としてギネス登録もされた、

「世界最強のプラスバンド」なのだ。最強音の迫力もさることながら、弱音の繊細な美しさ、永遠につづくかと思われる息の長さ、

さらに、ひたすら聴衆を楽しませようとするエンタテインメント・プレイ——BDBのコンサートは、一度行ったら忘れられなくなるひが多い。

今回も、オリジナルから映画音楽、クラシックなど、様々なジャンルが演奏されるが、

やはり注目は、2公演で5曲が演奏される、人気作曲家ピーター・グレイアムの楽曲だ。

《ダイナスティ》は、伝説のコルネット奏者で指揮者でもあったハリー・モーティマー(1902~92)の生涯にインスパイアされた曲だ。

本年のブリティッシュ・オープン選手権の課題曲でもある。また、グレイアムの大人気曲、《シャイン・アズ・ザ・ライト》も聴き逃さない。

そのほか、プラスバンドの醍醐味をとことん味わえる、おなじみポール・ロヴァット=クーパーの曲のほか、

首席コルネット奏者リチャード・マーシャルをはじめとするソロイストたちのスーパー・プレイも楽しみだ。

BDBには、弁護士など、正業をもっているメンバーもいる。よって長期ツアーは困難で、日本公演も毎回「1週間」しか組めない。

彼らのコンサートは実に貴重な機会なのだ。今回も、怒涛の1週間で展開してくれることだろう! <敬称略>



ブラック・ダイク・バンド音楽監督・首席指揮者

**ニコラス・チャイルズ**

Nicholas Childs

Music Director & Chief Conductor

DMA(博士号)、MA(修士号)、  
FLCM(ロンドン・カレッジ・オブ・ミュージックのフェローの称号)、  
ARCM(Hons)(英国王立音楽大学名誉アソシエイトの称号)

世界のプラスバンド界の重鎮。指揮者、指導者、先駆的な録音の制作者として、国際的に知られている。ブラック・ダイク・バンドの首席指揮者兼音楽監督という現在の職に就任してからは、新曲の世界初演、録音等の活動が際立っている。

指揮者としてこれまでに全英プラスバンド選手権で6回全英国チャンピオンを獲得している。それは、2001年、04年、08年、09年、14年がブラック・ダイク・バンドを率いてのものであり、1999年がフォーデイズ・カルトワ・バンドを率いてのものである。

さらに、ブラック・ダイク・バンドとは、ブリティッシュ・オープン・プラスバンド選手権で2005年、06年、14年に優勝し、ヨーロッパ・プラスバンド選手権で2005年、12年、15年に優勝している。2009年6月には、ブラック・ダイク・バンドを率いて、彼にとって初めてとなるイングランド(イングリッシュ・ナショナルズ)選手権で優勝し、その後、11年、12年、13年にも優勝を重ねた。この他にも、スウェーデン、フランス、スコットランド(4回)、ウェールズ(3回)、ノルウェー(5回)の各ナショナル選手権での優勝がある。さらに、リーズ・メトロポリタン大学からは、2006年に名誉博士号を授与され、2008年には教授に任命された。また同年、ロンドンの名誉市民「フリーマン・オブ・ザ・シティ・オブ・ロンドン」の称号を授与された。

近年、王立ノーザン音楽大学の教授に任命され、同大学の学長、リンダ・メリック教授は、「音楽業界に際立った貢献をされたニコラス・チャイルズ氏に、教授という役職を引き受けていただけただけのことを、私たちは大変光栄に思っています。そして、王立ノーザン音楽大学に新設されたフィリップ・ジョーンズ・プラス・センターを拠点にプラスバンド教育を充実させるにあたり、彼と共に活動することを楽しみにしています」と述べた。

## 朝岡 聡(司会) Satoshi Asaoka, Emcee

フリーアナウンサー&コンサート・ソムリエ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社。「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CM出演のほか、クラシック・コンサートの司会や企画構成にも活動のフィールドを広げている。ソリストや指揮者だと繰り広げるステージ上の会話や興味深い内容を軽妙なトークで展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。



## ブラック・ダイク・バンド The Black Dyke Band

1855年創立。その前史としては、1816年、ピーター・ワートンが、ヨークシャーのクイーンズヘッド(現在のクイーンズバリー)に、金管楽器と木管楽器によるバンドを設立。後に「ブラック・ダイク・ミルズ・バンド」の創設者となるジョン・フォスターは、このワートンの設立したバンドのフレンチ・ホルン奏者であった。1833年になると、「クイーンズヘッド・バンド」という名の新しいバンドが結成された。このバンドクイーンズヘッド・バンドは、1838年から1843年にかけて団員18名を擁していたと伝えられている。

ブラック・ダイク・バンドは、2005年9月15日に創設150周年記念日を迎え、この時ロイ・ニューサム博士の著した「ゴールデン・イヤー:ブラック・ダイク150年の歴史」という書籍の出版、3枚組のCDセット「ジュエルズ・イン・ザ・クラウン」をリリースした。

ブラック・ダイク・バンドは、世界で最も多くの録音をおこなっているバンドで、すでに350枚を超えるディスコグラフィは、年々さらに増加を続けている。また、同バンドは、世界で最もコンテストで成功を収めているバンドでもある。これまでに、ヨーロッパ・プラスバンド選手権で13回、ブリティッシュ・オープン・プラスバンド選手権で30回、全英プラスバンド選手権で20回以上の優勝実績がある。また、イングリッシュ・ナショナル・プラスバンド選手権では、2009年、11年、12年、13年に優勝したのに加え、2014年10月にも優勝したことにより、2014年の「イングリッシュ・ナショナル・チャンピオン」のタイトルを獲得した。

2006年には、ブラック・ダイク・バンドは、若者たちの活動を支援する働きかけの一環として、ニコラス・チャイルズ博士の指導と同バンド正規メンバーの協力の下に、11歳から21歳までの若者たちが、演奏者、作曲家、市民として、自身の潜在能力を余すところなく発揮できるように、彼らに良い刺激を与え、彼らの意欲を掻き立てることを主旨としてヨークシャー・ユース・プラス・バンド(YYBB)を創設。

2007年8月には、ブラック・ダイク・バンドは、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールにおけるBBCプロムスに招かれて演奏を行った。

2016年、26年ぶりの来日公演を行い、翌2017年にも日本ツアーを実施し各地で大反響を得た。

### 特別割引チケット(ジャパン・アーツびあホールセンター及びWEBジャパン・アーツびあで受付)

◎学生席:各日2,700円(2019年6月8日(土)10:00より受付開始)  
\*社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。公演当日、入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴いたします。)ジャパン・アーツ夢倶楽部会員で学生の方も、学生席は上記金額となります。

◎シニア・チケット=65歳以上の方は指定席を会員料金でお求めいただけます。

★車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。※ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付

(次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ) ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、ご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤全席指定です。指定された座席でのご鑑賞をお願い致します。⑥場内での写真撮影・録音・録画・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterでフォローする  
@japan\_arts

## ブラック・ダイク・バンド2019年 日本公演 その他の公演スケジュール

10/27(日) 大阪狭山市文化会館SAYAKAホール

◎同上 TEL:072-365-8700

10/29(火) 札幌文化芸術劇場 hitaru

◎道新プレイガイド TEL:0570-00-3871(日曜定休)

11/1(金) 四日市市文化会館 第1ホール

◎同上 TEL:059-354-4501